

試聴会・訪問記掲載

オンラインオーディオショウ「Audio Renaissance Online」視聴報告 (2020.11.15) (HP 掲載)

1. はじめに

逆木一氏の企画・主催によるオンラインオーディオショウ「Audio Renaissance Online」が開催されましたので、前日に引き続き視聴しました。

<https://av.watch.impress.co.jp/docs/news/1273040.html>

<https://kotonohanoana.com/archives/26110>

https://www.youtube.com/channel/UCBouIIERa_TpIRzycn1Wh6A?view_as=publi

c



2. 展示会社等情報

- 【タイムスケジュール】 ※空気録音のある回は【空】と表記

11月15日(日)

10:00~10:30 SOULNOTE ① 【空】

10:30~11:00 SOULNOTE ② 【空】

11:00~11:30 SOULNOTE ③ 【空】

11:30~12:00 株式会社トライオード 【空】

(12:00~13:00 昼休憩)

13:00~13:30 株式会社ステラ

13:30~14:00 株式会社ゼファン

14:00~14:30 TOP WING Cybersound Group ③ 【空】

14:30~15:00 デノン 【空】

- 15:10～15:40 フェーズメーション ① 【空】
- 15:40～16:10 フェーズメーション ② 【空】
- 16:10～16:40 オーロラサウンド株式会社 【空】
- 16:40～17:10 アンダンテラルゴ株式会社 【空】
- 17:10～17:40 株式会社アコースティックラボ 【空】
- 17:50～18:20 ネットワークジャパン株式会社 ① 【空】
- 18:20～18:50 ネットワークジャパン株式会社 ② 【空】
- 18:50～19:20 スペック株式会社 ② 【空】
- 19:20～19:50 株式会社スフォルツアート ② 【空】

3. 展示チェック経過

サイトの案内で事前に各社のカウントダウン動画でプレゼンの紹介が見られました。そのような案内を参考に興味のあるもので音出しのあるものを主に視聴していきました。

10:00～10:30 SOULNOTE ① 【空】

10:30～11:00 SOULNOTE ② 【空】

11:00～11:30 SOULNOTE ③ 【空】

SACD-CD プレイヤーの S3 のヴァージョンアップが行われたので、旧ヴァージョンとの比較試聴が行われました。引き続き、NOS(Non Over Sampling)と 100KHz の Low Pass Filter の ON/OFF のデモが行われました。さらにパワーアンプの P3 についての詳しい説明がありました。





11:30~12:00 株式会社トライオード

KT150 を使用したアンプの武蔵と 300B アンプのデモが行われました。



15:10~15:40 フェーズメーション ①

15:40~16:10 フェーズメーション ②

アナログ再生のデモが、下記の現行機器や新製品を使用し、順次ラインアップを替えて行われました。

PP200 PP500 PP2000 EA550 EA1000 EA2000 T500 T1000 T2000
CM2000 MA1500 MA2000

最初に現行機器のラインアップを替えてデモが行われました。

① PP500→EA550→CM2000→MA2000

② PP500→T1000→EA550→CM2000→MA2000

③ PP2000→T1000→EA1000→CM2000→MA2000

④ PP2000→T2000→EA1000→CM2000→MA2000

新製品 PP200 の紹介とデモが行われました。

⑤ PP200→T500→EA550→CM2000→MA2000

新製品 T550 の紹介とデモが行われました。

⑥ PP200→T550→EA550→CM2000→MA2000

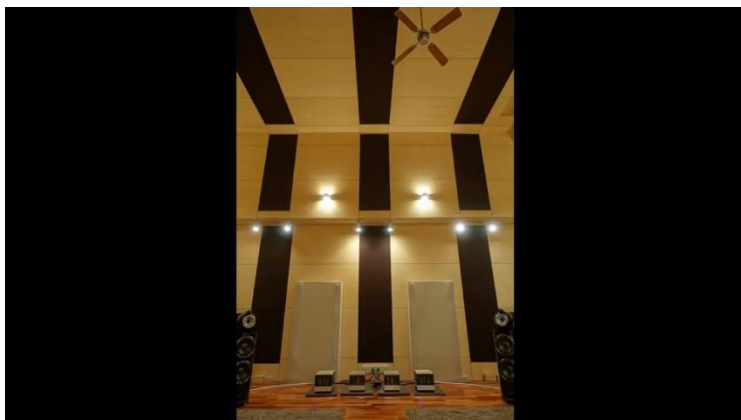
新製品 EA2000 (トランス別躯体・LCR イコライザー・電源の計 6 躯体) システム

の紹介とデモが行われました。

⑦ PP2000→T2000→EA1000→CM2000→MA2000（比較対照）

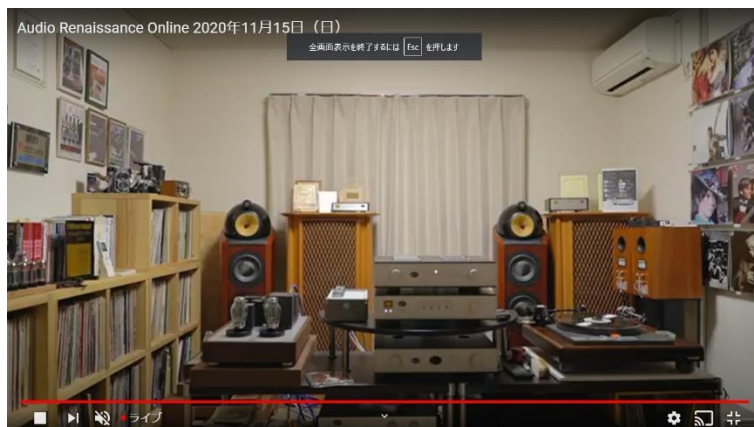
⑧ PP2000→EA2000→CM2000→MA2000

後半になるに従い、クオリティが上がり、倍音やチェロの胴鳴りもリアルになってきました。



16:10～16:40 オーロラサウンド株式会社

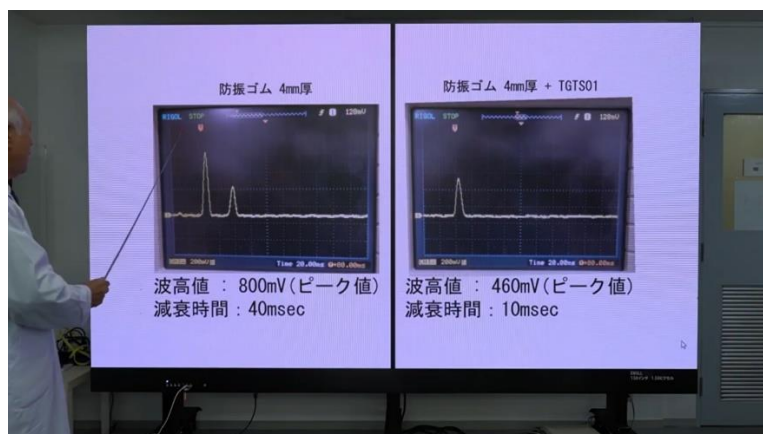
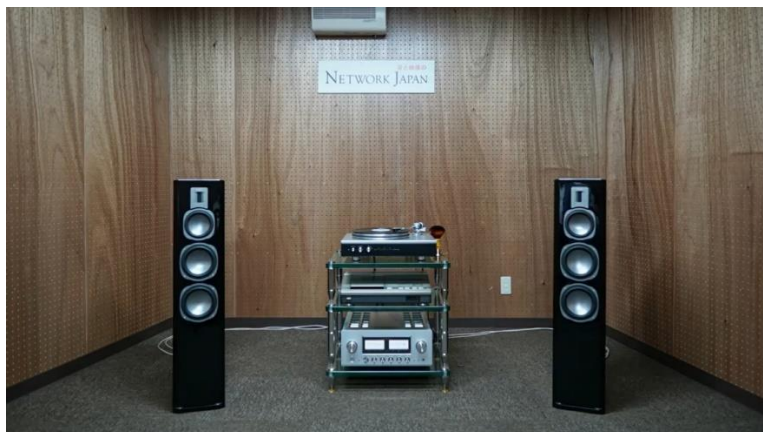
アナログ再生を新製品の LCR 型フォノイコライザーVida Supreme を中心にデモが実施されました。



17:50～18:20 ネットワークジャパン株式会社 ①

18:20~18:50 ネットワークジャパン株式会社 ②

同社取り扱いの防弾ガラスのラックとターンテーブルシートの説明があり、ターンテーブルシートの試聴がありました。振動衝撃波を発生させ、ターンテーブルシートまでの伝達を測定したデータの提示がありました。音出しは、クアッドラルシリーズの紹介の後、オルカン9で行われました。



18:50~19:20 スペック株式会社

Diretta の伝送方式を採用した RMP-UB1 の紹介がありました。Diretta の伝送は USB 伝送の S/N の改善による高音質化を目論んだものです。RMP-UB1 は PC あるいは NAS と USB-DAC の間に挿入するものですが、音出しはありませんでした。



4 . まとめ

2日間にわたるオンラインオーディオショウ「Audio Renaissance Online」は、初めての試みであるにもかかわらず、課題曲の選定やカウントダウン動画でプレゼンの紹介がされるなど、周到的な準備がされたようで順調に推移していました。デモの内容は、話だけのものから、積極的に音出しをするものまで、各社の意図に従ったものでした。音出しに関しては収録環境の影響を受けていたようで、中にはYouTubeとは思えないほど、スピーカーから出る音を的確に聴き取れるものがありました。音質的にレベルの高いデモを行ったのは、次のようなものでした。

シーエスフィールド株式会社	STABI のアナログ再生
株式会社ジェネレックジャパン	ジェネレックのモニタースピーカー
株式会社アイ・オー・データ機器	fidata の新製品紹介
フェーズメーション	新製品を含むアナログ再生

課題曲がクラシックでしたので、各社の音の決め方に関するセンスがよく分かりました。総じて、北欧や中欧の製品に関するディーラーのデモ内容のクオリティが高く、国内メーカーは、フェーズメーションは例外として、音楽の捉え方に疑問を感じる場合もありました。特に、フェーズメーションの新製品を含むアナログ再生は、国内メーカーとしては、例外的にヴィオラの中音の魅力やチェロの倍音や胴鳴りの表現を引き出していました。

新規の動向としては、光 LAN や Diretta の伝送方式に期待したいと思います。個人的には fidata のストリーミング再生対応に興味を持っています。

このような企画は有意義と感じましたので、コロナ禍の特別な機会ではなく、今回の企画のノウハウを活かして、オーディオの諸団体、オーディオ誌、メーカー、販売店などにおいて常設サイトを設けて公開してほしいものです。

註：

ネットに掲載された関連記事を下記に引用します。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202011/16/22074.html>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202011/16/22073.html>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202011/14/22070.html>

以上